



となん

【学校経営目標】

【目指す生徒像】

**よりよい未来の創造と自己実現を目指し
学び活動する生徒の育成**

【学校教育目標】

【知】自ら学ぶ意欲を持つ生徒

【徳】豊かな心を持つ生徒

【体】健康でねばり強い生徒



さきやまようしょう

発行者：校長 崎山 用彰

☆下中だより「となん」は、
学校HPから閲覧可能→



6/11(水) 沖縄タイムス「たんぽぽのタネ」

『他者を理解し多面的に』 山内 治 さん

今回は、沖縄タイムスの記事から「他者を理解し多面的に(山内治さん)」を紹介します。文中には「ウルトラマン」「環境問題」「沖縄の本土復帰」「本当の正義」「慰霊の日」などの言葉があります。家庭でも共有してみてください。

たんぽぽの
タネ



山内 治

他者を理解し 多面的に

昭和40年代に子どもたちを夢にした「ウルトラマン」シリーズの生みの親、南風原町出身の金城哲夫さんをご存じだろうか。脚本を手がけたウルトラセブンの第42話「ノンマルトの使者」はフアンの間で「神回」の一つとされ平和教育や道徳の教材として全国で活用されている。

あらすじは、主人公のモロボシダンとアンヌ隊員が海岸で休暇中、1人の少年が現れ、「地球人による海底開発を止めさせて」と頼む。少年は海底に住むノンマルトを無視し勝手に開発をすると災いが起こると警告した後、海洋調査船が爆発炎上。さらに少年は元々の地球の先住民であるノンマルトを後から来た地球人が海底に追いやったと主張する。

しかし開発を止めない人間に対しノンマルトは抵抗し、海底から現れた怪獣をウルトラ警備隊はノンマルトだと勘違いして、ウルトラセブンと共に倒す。海底都市は全滅し警備隊の隊長は「我々の勝利だ。海底はこれから地球人のものだ」と言う。

その後、モロボシダンとアンヌ隊員は少年が2年前に海岸で亡くなっていたことを知る。金城さんは何を伝えたかったのか。生徒たちは「環境問題」や「沖縄の本土復帰」「本当の正義」を作品から考える。私たちは簡単に「正義」と「悪」を口に、自国や自分の主張が正しいと言いがちだが、今だからこそ他者を理解し、多面的に物事を考えることがこれから必要ではないか。最終回でセブンは自らの正体を明かしM78星雲(南のNAHAという説もある)に帰るが、金城さん自身も復帰直前の沖縄に帰っていった。

もうすぐ「慰霊の日」を迎える。戦後80年たっても沖縄の状況は変わらない。金城さんが生きていたら今の沖縄をどう見るだろう。ふと空を見上げると、西の空に飛行機雲がうつすらと見えた。

(県小中学校歴史教育研究会副会長)

6/9(月) 総合的な学習の時間(3年)

『SDGsと福祉講話』市社会福祉協議会



6/9(月) 5校時、総合的な学習の時間(3年)で「SDGsと福祉講話」と題して社会福祉協議会の恩河さんを講師に招いて行いました。福祉とは「普段暮らしている幸せづくり」「笑顔づくり」だとお話していました。

6/10(火) 特別活動(全学年)

食育講話『食と歯の関係』

6/10(火) 6校時、歯と口の健康旬間の取り組みの一環で「食育講話『食と歯の関係』」と題し、下地調理場の武井絵理さんを講師に招いて行いました。給食では「カルシウム」摂取不足を牛乳で補っていることを伝えていました。

6/12(木) 小6・中1合同授業(国語)

『中学校の良さを伝えなごや!!』

6/12(木) 3・4校時に小・中学校多目的教室でみだしの合同授業(国語)「中学校の良さを伝えよう!!」を行いました。たった2ヶ月過ぐす中で「下地中学校の良さをアピールできましたね。一番喜んでいただけたのは、優子先生でしたね。」

